

第4回 玉川地域-1

施設全体方針、その他

備品、レイアウト、空間の使い方や過ごし方

利用ルール

支援体制、区民参加、つなぎ役

活動内容

多様な人が会える
コンセプトは良い

誰も置いていかない、全員がターゲット
→難しい

多角的な視点が必要

ふらっと来て宿題だったり勉強だったりができるの良い

仕事したい席数はちょっと欲しい

複数人でふらっと来て勉強できても良い

若者同士の交流の場になるかも

「スタートアップ」若者の将来を考える
有望な若い人を捕まえる

パワーポイントをととも使う
→Wi-Fiが無い施設が多い

デジタルデバイドの解消やUD対応がやはり重要

地域の人が働く場になっても良い

家で勉強しにくい人もいる

24時間空いている自習室もある

時間で区切っても良いのでは
※夜は学生 昼はイベント 朝は散歩

運営

海外っぽい！夜10時ぐらいまで空いてると良い

公園のように散歩したくなる空間

世田谷の野菜とか売って欲しい

地産地消

障害者が関わって運営している施設もある

手話で交流できる、きっかけの場になると良い

スターバックスのように売店の中で区とコラボしたり...

利用するきっかけがある

ものづくり体験(工作とか) →子ども向け

朝市やマルシェを開催して欲しい

若い人は「みどり」に集まる

- ・日陰
- ・お花
- ・カフェに木
- ・自然は非日常

屋上庭園はととも良い

もちろん他の世代も集まってくる！

Z世代のキーワードは「自然」かも！？

施設ができる前からきっかけづくりをする

愛着が湧いてくるかも！事前に盛り上げていく

行政とのつながりが今薄い

運営が学生だと子どもも楽しい

ベビーカーは買い物が大変...

季節ごとのイベント

- 月ごとのテーマ
- ・キッチンカー
- ・イルミネーション
- ・WS
- ・福祉体験

SNSとかマッチングもデジタルで

SNSを見てもらうために何を？

⇒情報発信が重要

WSも継続的にやっていくことが重要

大学との連携は必要

⇒お互いにつながるからメリットがある

遊ばせながらさっと買い物できると良い

野菜だけじゃなく、商店街のお惣菜が売られていると助かる

毎月何かやってる！

SNSは訪問しないと見てくれない、1つ1つが軽視される

⇒アナログの方がつながるかも？

第4回 玉川地域-2

施設全体方針、その他

備品、レイアウト、空間の使い方や過ごし方

利用ルール

支援体制、区民参加、つなぎ役

活動内容

視覚的な情報を充実して欲しい

区内の観光案内用の大きなタッチパネル

触ると音声+手話の動画が流れると良い

茶室があるとコミュニティができてよい

和の文化があるようなスペース

テーマを決めて自由に意見交換できるボード

楽器を練習できるスペースが欲しい

既存の施設は音について「何デシベルまで」という制限表記

もう少し直感的に分かりやすい表記だと良い

手話を使う方も含めてみんなでお話ができる場

誰でも手話を学べる場

音楽

茶道

1日の予約情報(団体名と活動)が表示されていると交流のきっかけになる

同時に書きに来た人の交流が生まれる

耳の聞こえない人も交流できる

直接話さなくてもボード上で交流できる

テーマは区民が決めても、行政が困っていることでも良い

施設に対する意見とかでも良いのでは

コロナの影響が施設予約が「電話」のみとなっている

電話ができない人もいるので、それ以外の方法は必要

手話通訳の方が前に立つことを考慮して、照明が当たるようにして欲しい

手話通訳者にスポットライト

or

スクリーン部分だけ暗くなる

スポットライトを備品として貸し出しても良いのでは

単純な利用だけだと、周りとの交流はきっかけがないと生まれづらい